エヌビディア決算が半導体株反転の契機になるか

チーフ・ストラテジスト　石黒英之



ポイント① 実績と見通しが市場予想を上回る

17日に決算発表を行なったエヌビディアの26年8-10月期売上高は前年同期比103%増の1,158億米ドルとなり、市場予想の最高額1,149億米ドルを上回りました。26年11月-27年1月期の売上高見通しの中央値も1,300億米ドルと、市場予想の1,253億米ドルを上回りました。AI（人工知能）需要増を背景に、今後も大幅な増益が見込まれています（右上図）。株価は時間外で上昇しました。

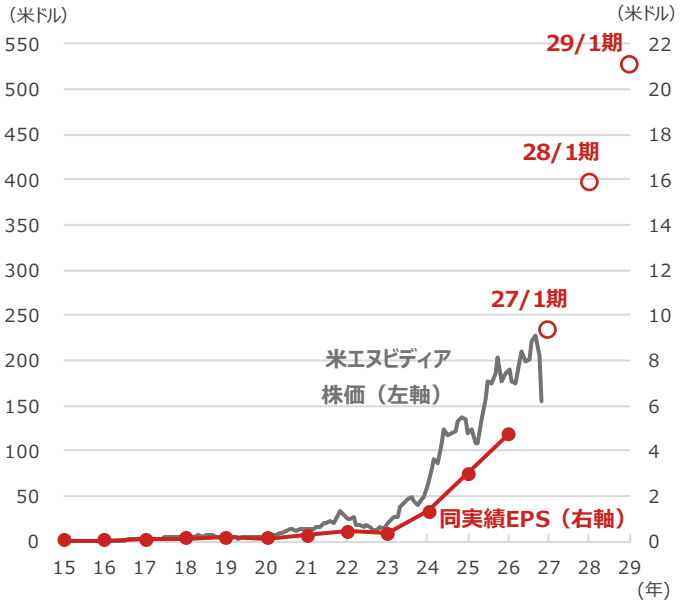
一方、創業者のファン氏の退任で経営には不透明感が残ります。同氏は半導体の供給に加え、AI関連企業への出資等を通じて業界の成長を支えてきました。新経営陣が投資戦略を見直せば、AI関連企業の資金調達や設備投資にも影響しかねません。こうした懸念から半導体株は大きく下落しています。

ポイント② 株価調整進み見直し機運高まるか

実際、SOXは5日に最高値から38.4%下落しました。過去の大幅調整局面では40%前後の下落を経て底入れする傾向がみられました（右下図）。今回もエヌビディアの経営問題や民主党のデータセンター規制強化方針等、悪材料の織り込みが進んでいる可能性があります。ただ、下落率だけで底打ちは判断できず、今後の業績動向も重要になります。

SOXの12ヵ月先予想PER（株価収益率）は、AI相場が始まった23年以降で最低水準まで低下しています。今後はエヌビディアの経営の安定やアンソロピックの新規上場等を経て、市場心理が改善するかが焦点です。今回の好決算を受け、半導体関連企業全体の業績見通しが上方修正されれば、割安感が一段と強まる可能性があります。半導体株の成長力が改めて評価される局面に移るか注目されます。

米エヌビディアの株価と実績・予想EPS（1株当たり利益）



期間：（米エヌビディア株価）2015年1月末～2026年11月17日、月次
（同実績EPS）2015年1月期～2026年1月期、年次
・○印は27/1期、28/1期、29/1期の予想EPS（2026年11月17日時点のBloomberg予想）
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

SOX（フィラデルフィア半導体株指数）と高値からの下落率



期間：2015年1月2日～2026年11月17日、日次
・高値からの下落率は2015年1月2日を起点とした
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

個別銘柄の記載は、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一的見解ではないものもあります。

NOMURA
野村アセットマネジメント

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

野村アセットマネジメントからのお知らせ

■ご注意

下記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をご覧下さい。

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

■投資信託に係る費用について

以下の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

2026年11月現在

ご購入時手数料 《上限3.85%（税込み）》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。 投資信託によっては、換金時（および償還時）に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用（信託報酬） 《上限2.222%（税込み）》	投資家がその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 ＊一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 ＊ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

NOMURA
野村アセットマネジメント

商　　号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会